

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	菫田野町	健康・観光拠点化に向けた環境整備検討について (京都府公認のグラウンド・ゴルフ場整備)	現在亀岡市で、グラウンド・ゴルフ公認コースを建設する予定はありませんが、以前に民間企業Aの跡地を京都市内の企業Bがグラウンド整備の土地を探しておられる関係で一度現場を案内いただいたことがあり、面積的にはかなり広大であると思われます。 今後については民間会社の導入も思案に入れながら、検討させていただきたいと考えているところです。グラウンド・ゴルフ競技は非常に簡単で、競技人口も増えていっていると思いますので、そういったところも考えながら検討させていただきたいと考えております。	生涯学習部長	③検討	現在亀岡市でグラウンド・ゴルフ公認コースを建設する予定はありませんが、今後競技人口の増加や世論が盛り上がるなどすれば検討させていただきたいと考えています。
2	菫田野町	健康・観光拠点化に向けた環境整備検討について (地元野菜等の販売所)	亀岡市としては、現在進めております亀岡市直売連絡協議会の取り組みを更に拡大・発展させるとともに、京都府や亀岡市の農産品を使った、食の観光振興を進めてまいりたいと考えています。 野菜の直売所については亀岡市直売連絡協議会が立ち上げられ、現在20のグループが農業経営の向上と地域農業の活性化に取り組まれています。 菫田野町内においても「ふれ愛ひえだ野」や「奥条ふれあい市場」を開催されています。今後、グループや直売所の立ち上げの際に御活用いただける京都府の補助金もございますので、運営体制や計画が具体化した段階であらためてご相談いただければと思います。	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
3	菫田野町	健康・観光拠点化に向けた環境整備検討について (湯の花温泉の足湯)	菫田野町には、湯の花温泉をはじめ、菫田野神社や神蔵寺、龍潭寺、千手寺などの社寺仏閣、また国の天然記念物の桜石や、国の重要形民俗文化財である佐伯燈籠など、多くの観光資源を持つ重要な観光エリアであると考えます。 提案いただいた足湯についても大変夢のある取り組みではありますが、現在建設中の京都府スタジアム内にて「湯の花温泉足湯館」の整備を進めております。 収益性や採算性等を見極めながら、地域の主体的な取り組みとして環境整備を検討していただけるのであれば、温泉の供給や、誘客に向けた観光プロモーションなどで応援したいと考えます。	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
4	菫田野町	千手寺(とこなげさん)周辺の「霧のテラス」指定について	基本的な考え方としては、道路条件や安全担保等の観点から考えますと、公共施設として霧のテラスを整備するのは難しいと思われます。 仮に公共施設として整備した場合にも、ゴミの不法投棄等の防犯上の観点から維持管理が大変難しく、閉鎖に追い込まれる可能性が高いと思われます。 とこなげさんについては、亀岡市や観光協会のホームページ等で、竜ヶ尾山の「霧のテラス」とあわせてご紹介させていただいており、ライブカメラの映像も配信するなど紹介に努めています。 また、雲海が現れた時には職員が現地を訪れ、かめまるフェイスブックにて取り上げ、配信させていただいています。	産業観光部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
5	葎田野町	太田地区に於ける願成寺川の治水対策について	当該箇所については、平成28年度に詳細要望を実施しており、改修の必要性については十分に認識しているところではありますが、本格改修となりますと隣接する道路を含めた河川断面にする必要や、下流域を含めた河川改修の他にバイパスルートの確保に加え、道路占用物(上下水道施設)の移設等様々な課題があり。現時点では抜本的な改修を実施するには多額の費用や課題整理に多くの時間を要することとなります。 しかし、豪雨時には応急的な対応として、土のう設置など地元関係者の皆様にはご苦労願っているのは十分承知しております。 断定的ではありますが、流水断面が狭い箇所にある床板が原因で、流水を阻害し、越水している可能性も考えられます。 こういった箇所については、部分的ではありますが改修を実施するなど、浸水被害の軽減を目指すべき、地元関係者の皆様と相談・検討を図っていききたいと考えております。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会後、令和元年8月1日に地区区役員と立会をお世話になり、バイパスルートの確保等の確認・立会をさせて頂きました。 抜本的な改修を実施するには多額の費用や課題整理に多くの時間を要することとなり、今後も地元関係者の皆様と相談・検討を図っていききたいと考えております。
6	葎田野町	ふるさとバス並河駅コース(F51系統)の継続運行について	葎田野町鹿谷地区の交通空白地域解消のため、ふるさとバス並河駅コースを再編し、平成30年3月31日から試験運行を行っています。新設した区間に3か所の停留所を設置し、1日あたり5人の利用者を目標に行っております。 設置後の1年間を平均すると、目標人数の5人を超えた月もありますが、平均すると1日あたり3.3人で、目標の7割程度となっております。 試験運行期間は令和2年3月末までの2年間としており、利用状況を見中で、継続運行の有無について検討してまいります。 行政としても、運行を継続していきたいと考えていますので、地元においても、引き続き住民の皆様に積極的なバス利用のご協力をお願いします。	まちづくり推進部長	①実施	令和2年3月以降も試験運行を継続しました。
7	葎田野町	鹿谷区、九ヶ条地区の市道整備について	平成30年7月豪雨により、路肩が約7m洗掘され、道幅が狭くなっており、通行に御不便をおかけしているところでありますが、現在復旧に向け準備を進めているところであります。 現況道路の土抱えについては石積と土羽構造となっており、道路の冠水被害が課題となっております。 復旧工法としては、復旧を要する区間の土抱え部を擁壁を建て、川の拡幅と道路幅の確保が双方可能となります。 併せて水路からの越水についても考慮して、擁壁の一部をかさ上げていきたいと考えており、計画が固まり次第地元にも協議させていただきたいと考えております。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	路肩の復旧工事は、令和2年1月に完了しました。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	稗田野町	稗田野小学校前の通行速度規制について	交通規制について、亀岡警察署に確認したところ、一方通行や通行止めを実施した場合には周辺住民の方に不便をおかけすることになるので、周辺住民の方の理解が大切であると同っています。その為、まずは交通規制よりも先に周辺住民皆様の合意を得る事が必要になってきます。 また、要望いただいている速度制限等についても確認したところ、道路環境や通行車両のスピード等を踏まえると30km制限を設けるのは難しいとのこと。 そのことから、篠町で実施しているポール設置やパンプ等の設置で物理的に制限を図っていくことが可能ですので、地元の理解を得る事が大切になってきます。 亀岡市においても、道路管理者や亀岡市警察署等の関係機関と連携を図りながら、地域住民の皆様との協議・調整を進めていきたいと思います。	総務部長 (まちづくり推進部)	③検討	12月2日に自治会長、小学校長とともに現地立会いを行いました。速度抑制の有効な対策案を提示して、今後検討していくこととします。
9	稗田野町	稗田野小学校前の通行速度規制について	亀岡市教育委員会においては「亀岡市通学路交通安全対策プログラム」を策定し、従前から取り組みを進めています。 その活動を推進する機関として、亀岡市通学路交通安全推進会議を設け、市の道路関係、総務関係、教育委員会、京都国道事務所、南丹土木事務所、亀岡警察署等と一緒に現地確認等を行いながら対策を行ってきたところ。 今回要望いただいた稗田野小学校前の道路については、当該区間の電柱に通学路注意等の文言の啓発用看板の設置を考えております。 今後とも連携を図りながら取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解いただくようお願い申し上げます。	教育部長	①実施	電柱への通学路注意等の啓発用看板については、8月に設置をしました。